

勉強のその先に

森田 航世

●志望動機

自分がなぜこの研修に参加しようと思ったのか、理由は二つある。一つは自分の今の実力を知ること。もう一つはこの研修で取り上げられている目的の一つである「生き様」を学ぶことである。この研修では多くの海外留学生や現地で活躍する人から話を聞くことができる。だからこそ、そういった人たちの生き様を知ることによって大きな経験値を得ることができると思った。

●現地で実感したこと

まず感じたのは、多種多様な人種の人が暮らしているということである。ロンドンでは世界中から多くの人が働きに来ている。そのため街中を歩いていた人は、白人や黒人、アジア系の人などがいてイギリスにいるのにイギリス人の国という感覚はあまりなかった。次に、現地の学生との会話の中で自分の伝えたいことはある程度英語で伝えることができた。けれども、その後相手の返答を理解することはとても難しかった。相手の話す速さが速いものもあるが、自分の知らない単語が多かったのが一番の理由だと思う。自分のリスニング力のなさ、語彙力のなさを実感し、これからの課題を見つけられたと思う。

●現地で活躍する日本人のレクチャー

・紅林 秀和さん

紅林さんはロンドン大学の教授である。彼は世界で活躍するために大事な三つのことを教えてくれた。

①コミュニケーション能力

②たくさんの文化を知り、多様な価値観を理解する

③自分だけの武器を持つ

この三つである。まず、コミュニケーション能力は全体の基礎である。そして海外で失敗する日本人の原因は②であるという。日本人は集団意識が高く、集団から外れた道を進むものをバッシングする。そして相手の能力を、見た目で見極め、仕事を勝手に決めつけてしまう。それが失敗することにつながる。だからこそ異文化を認め、それぞれの仕事を決めつけるのではなく、互いの価値観を理解して判断することが大切なのだ。

最後に、三つの中で一番大切なのが③である。どんなに①、②が優れていても自分だけの他人より勝る武器、長所がなければ世界で活躍するグローバル人材にはなれないという。だからこそ、ただ試験に受かるために勉強するのではなく、将来を見据えた自分の武器を磨く勉強をするべきだ、と感じた。

・岡本 尚也さん

岡本さんは、自分の確立した考えを持っている人物で、周りの人に大きな刺激を与えてくれる人物だと思う。彼は物事を多くの視点からとらえることの重要性やなぜ知識を蓄える必要があるのかということ教えてくれた。自分はこの話を聞いたときに勉強する意味や、いままでの自分の努力の少なさを感じた。なぜ岡本さんの話は私たちにこれほどの影響を与えることができるのか、それは一般的な大人よりもたくさんの経験をし、多くの知識を持っているからだと思う。

二人の話を聞いて共通していたことは、価値観についてだ。日本ではみんなと同じということが前提

となっていたり、頭が良い人は医学部に入ることが一般的となっていて、それは海外では異なるということをおっしゃっていた。紅林さんは価値観というものさしは日本基準→世界基準→自分基準という順で形成されるものであり、岡本さんは、あたりまえのことを客観的にとらえ、疑う姿勢を持つことが大切だということ教えてくれた。

●研修を終えて

研修を終えて感じたのは、思っていたよりもとてもハードであったということだ。朝ご飯のときからオックスフォード生や海外からの短期留学生に話しかけ、夜は10時まで英語での授業、自分の考えていたものとは全く違っていた。けれど、自分の中での達成感や成長というものは確かに感じられたと思う。志望動機にも掲げたように、自分の今の実力や今後の課題点についても感じるものはあった。何のために勉強をするのか、これはこの研修で一番考えさせられたことだと思う。オックスフォード大学という世界でトップの学生たちは東大生のように勉強がすごいできるという風にはあまり感じなかったが、ほとんどの学生が将来の夢をもって自分が何のために勉強しているのかわかっているようであった。世界でトップクラスといわれる理由は、想像力と先を見据えた思考性を持っていることだと思う。何のために勉強しているのか、この答えを見つけることが自分の今後の目標の一つとなったと思う。またこの研修で反省すべきこともあった。それは自分に満足してしまったことである。紅林さんの話を聞いて、自分の大きな成長を感じた。話し合いで自分の意思を伝えられたことに、以前よりも積極的になれたことを感じた。しかしその後で、自分の成長に満足してもっと上を目指そうという向上心を失っていた。人は満足したらそこで終わる。これは事実であると思う。この研修を通して学んだことはたくさんあるが、反省すべきところもあった。これらの経験をこれからの自分の成長に役立てられるようにしたい！

